

「延世大学校スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学理学部1年 杉津 萌

延世大学の語学堂での授業は平日朝9時から13時まで文法2時間、会話1時間、筆記1時間の合計4時間の授業でした。授業が全て韓国語で行われているので必然的に韓国語に触れる機会が増え、韓国語に早く慣れることが出来る点や、1クラス12人と少人数なので生徒が発言しやすく、その結果韓国語会話力の向上につながる点など、語学力向上に特化したシステムが多々見られ、韓国語学習がしやすい環境でした。延世大学は語学堂の他にもキャンパスが非常に広く設備も充実しており、また滞在中図書館が利用できたのも有り難かったです。3週間韓国で生活することで、授業以外の点で特に印象深かった点は交通制度の充実とPM2.5による深刻な空気汚染です。交通制度についてですが、ソウルは交通網が非常に発達しており、あらゆる場所に地下鉄の駅やバス停があり移動しやすかったです。見た限りではソウル市内の全ての地下鉄の駅は電車とホームの間にドアがついており、乗客が線路に転落することを防止できる安全なシステムが築かれていました。また運賃も非常に安く、鉄道は距離によらず片道約130円で乗り換えの際に更に交通費がかかることも無かったり、バスは一定時間内の乗り換えであれば乗り換え運賃無料など、非常に利用しやすかったです。PM2.5による大気汚染については予想していたよりもはるかに深刻で、どんよりと曇った空模様などの天候から目の痛みや頭痛など身体的不調に至るまで様々なところにPM2.5の影響が見られました。特に大気汚染がひどい日は外出を控えるよう警報が出るほどであったのが印象的でした。

3週間のプログラムを終えて、韓国語だけでなく韓国での生活体験も出来、非常に学びの多いプログラムでした。